

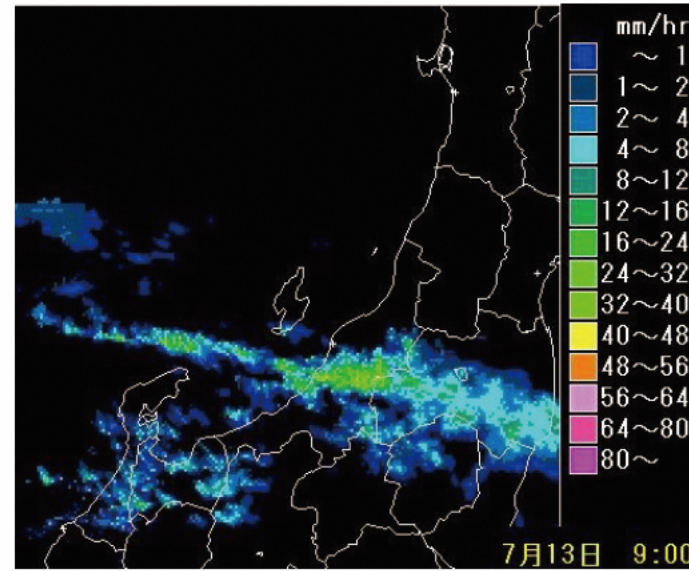
7.13 水害

記録的な集中豪雨

日本海から新潟県付近に停滞していた梅雨前線は、12日夜から活発化して豪雨となりました。

特に、13日朝から昼過ぎにかけて中越地方を中心に非常に激しい豪雨となり、上流の**栃尾観測所**〔气象台〕では**422mm**（24時間雨量）、**刈谷田川ダム観測所**〔新潟県〕では**472mm**（24時間雨量）を記録しました。これは、昭和10年以降の雨量観測データとして最も多かった昭和36年の年最大日雨量の342mmを大きく上回る記録的な豪雨であり、月平均降水量の約2ヶ月分に相当する雨が、わずか1日の間に降ったこととなります。

| | | | |
|-----|-----------------|--------|---------------|
| 气象台 | 栃尾観測所 | 24時間雨量 | 422 mm |
| 新潟県 | 刈谷田ダム観測所 | 24時間雨量 | 472 mm |



平成16年7月13日午前9:00 雨雲レーダー
(資料提供：新潟地方气象台)

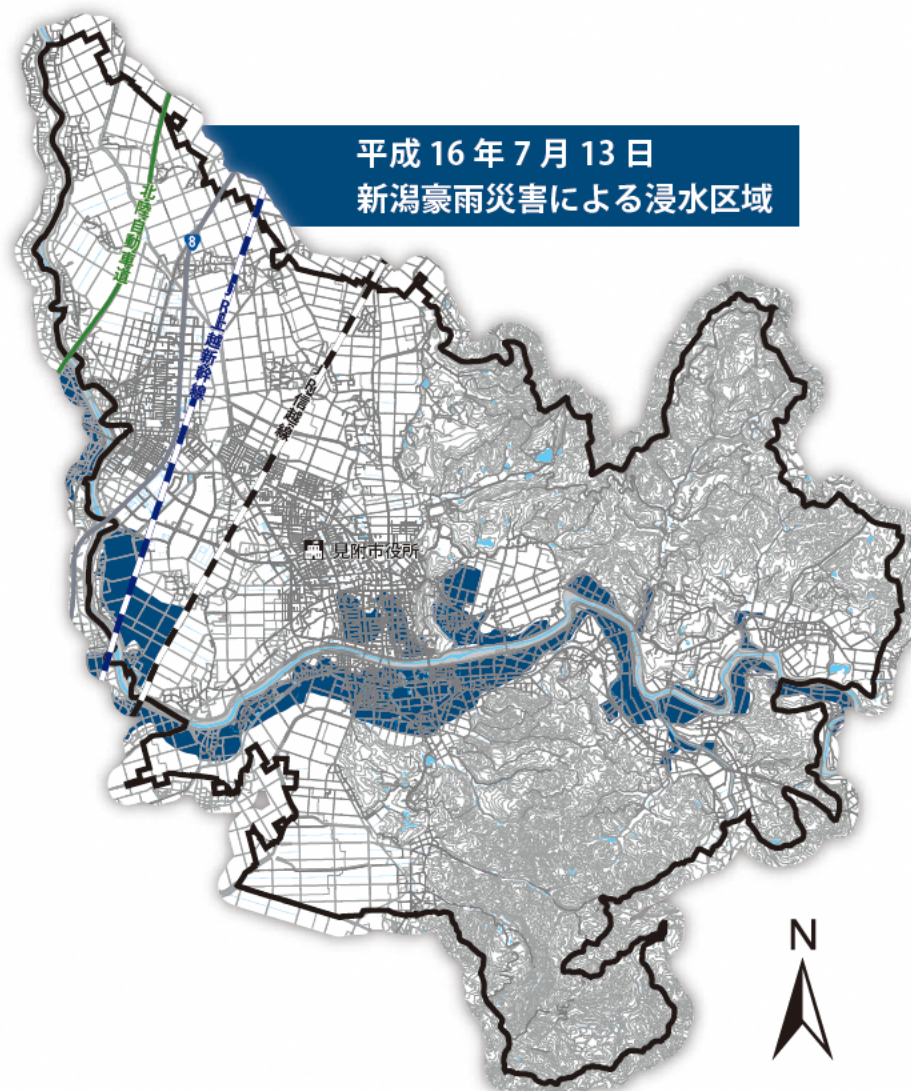
新潟豪雨災害による被害

平成16年7月13日、新潟県中越地区を中心とした地域を大規模な集中豪雨が襲い、刈谷田川をはじめ五十嵐川など6河川で11か所が破堤し、市街地が浸水するとともに、各地でがけ崩れ（土砂災害）などが多数発生しました。

新潟豪雨災害では、新潟県内で多くの人的・物的被害が生まれました。見附市では、刈谷田川の溢水、堤防の決壊により流域に沿って広範囲に浸水被害が生じ、半壊家屋1棟、床上浸水880棟、床下浸水1,153棟と甚大な被害となりました。



刈谷田川の洪水氾濫により浸水した小学校



平成16年7月13日
新潟豪雨災害による浸水区域

見附市では、平成23年に7.13水害の河川改修工事が行われ、河道をまっすぐにする工事や川幅を広げ堤防を強化する工事、遊水地を整備する工事などが行われました。

見附市の豪雨災害の想定

雨の降り方によっては、洪水浸水想定区域図や土砂災害警戒区域で示されていないところでも浸水や土砂災害の可能性ありますので注意してください。

洪水浸水想定区域図

河川別の洪水浸水想定区域図は次のページ

河川堤防の決壊の可能性がある地点ごとにシミュレーションを行い、浸水区域・浸水深さを計算しています。そしてそれぞれの地点の結果をすべて重ね合わせて、浸水区域・浸水深さ等の最大値を表したものです。本ガイドブックは、想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図を掲載しています。

〔想定されている4つの浸水の特徴〕

想定される最大の浸水深さ
最大浸水深

0.5m以上の浸水が続く時間
浸水継続時間

流れが強く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）



土砂災害警戒区域

土砂災害防止法に基づき、土砂災害が発生した場合に、生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域として、新潟県により土砂災害警戒区域が指定されました。

土砂災害警戒区域は、がけ崩れ（急傾斜地崩壊）、地すべり、土石流の3つの事象(24ページ)があり、危険度に応じて次の2つに分けられています。

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

がけ崩れ（急傾斜地崩壊）、地すべり、土石流の3つの事象があります。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

特定の開発行為に対する許可制や建築物の構造規制等が行われます。

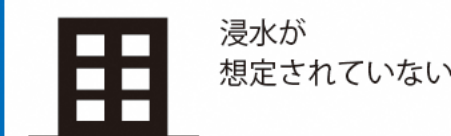
※不動産取引等で正確な土砂災害警戒区域等の情報が必要な場合は、新潟県砂防課のホームページまたは市役所の窓口などで確認してください。

指定緊急避難場所の安全レベル

市では、想定最大規模の洪水浸水想定区域図等を踏まえ、指定緊急避難場所の安全レベルを設定しました。

指定緊急避難場所の安全レベルと浸水の関係

★★★ 安全レベル3



★★ 安全レベル2



★ 安全レベル1

